

生ききるをみんなで支え合う 地域づくり

孤立という病を地域のつながりで治す方法「**社会的処方**」の実践を通じて、住民同士の「つながり」を紐解き、孤独・孤立を防ぐ地域づくりを考えます

参加無料

どなたでも
参加できます

令和8年

3/24 (火)
13:30~16:00

**エースバック未来中心
「小ホール」** 倉吉市駄経寺町212-5

【基調講演】「社会的処方」から考える「つながり」の力（仮）

13:40~14:40

講師：川崎市立井田病院 腫瘍内科 部長

一般社団法人プラスケア 代表理事 **西 智弘さん**



2005年北海道大学卒。室蘭日鋼記念病院で家庭医療を中心に初期研修後、2007年から川崎市立井田病院で総合内科／緩和ケアを研修。その後2009年から栃木県立がんセンターにて腫瘍内科を研修。2012年から現職。現在は抗がん剤治療を中心に、緩和ケアチームや在宅診療にも関わる。また一方で、一般社団法人プラスケアを2017年に立ち上げ代表理事に就任。「暮らしの保健室」「社会的処方研究所」の運営を中心に、地域での活動に取り組む。日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医。
著書に『だから、もう眠らせてほしい（晶文社）』『みんなの社会的処方（学芸出版社）』など。

【トークセッション】「生ききるをみんなで支え合う」地域づくり

14:50~16:00

- 《話題提供者》 若桜町社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 津崎 聖基 さん
琴浦町社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 青木 蓮音 さん
江府町社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 山下 陽子 さん
- 《コメンテーター》 一般社団法人プラスケア代表理事 西 智弘 さん
- 《コーディネーター》 特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター
地域支え合い推進プロジェクト 参事 宇城 絵美 さん
- 《オブザーバー》 鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局 孤独・孤立対策課／長寿社会課



主催：鳥取県・社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会

申込締切：令和8年3月18日（水）

開催趣旨

本県では、地域共生社会の実現に向けて、「住民同士のつながりを大切にしながら、社会的孤立を生まない、温もりのある支え合いのまちづくり」が進められています。

本フォーラムでは、住民一人ひとりの会話や日々の関わりから見えてくる「人と人のつながりの大切さ」を改めて考えます。「つながる」ことこそが、誰もが自分らしく生きられる地域づくりの基盤であることを参加者とともに整理し共有します。

プログラムでは、孤立という病を地域のつながりで治す方法「社会的処方」の実践を通じて、住民同士の「つながり」を紐解き、孤独・孤立を防ぐ地域づくりのヒントを探ります。その上で、誰もが自分らしく暮らし続けられる地域共生社会を目指すための方向性を共有していきます。

申込方法

- ・参加申込みは、下記の URL、または QR コードからお申込みください。
- ・申込期限 令和8年 3 月18日(水)
- ・または、下記「参加申込書」に必要事項を記入のうえ、電子メール又は FAX でお申込みください。



とっとり地域支え合い推進フォーラム2026・包括的支援体制整備に関するセミナー

参加申込書

氏 名	所属先・役職名	連絡先電話番号	メールアドレス	備 考

※参加申込書等に記載された個人情報は、本研修の運営管理に関する目的のみに使用します。

※プログラム内容と時間帯は、若干変更になる場合がありますので、予めご了解ください。

※自然災害等により急きょ中止又は延期する場合は、本会ホームページ・Eメールにてお知らせします。

《問合せ・申込先》

社会福祉法人 鳥取県社会福祉協議会
地域福祉部 担当：眞弓、山本、中田

〒689-0201

鳥取県伏野 1729-5 県立福祉人材研修センター内
TEL.0857-59-6332 FAX.0857-59-6340
メール. chiiki@tottori-wel.or.jp